

日本薬史学会 2026年会

東北地方、宮城の薬史を探る

開催
日時

2026年
9月26日(土)

開催
場所

東北医科薬科大学
小松島キャンパス

〒981-8558

仙台市青葉区小松島4-4-1

KOMATSUSHIMA CAMPUS

小松島キャンパス

【特別講演】

1. 伝承の和漢薬 塩釜蛮紅華湯

元塩釜蛮紅華湯株式会社会長

田村 博義 先生

2. 毒と薬と私たちの歩み ～薬毒同源～

日本薬科大学客員教授・

日本薬史学会会長

船山 信次 先生

特別講演2は
一般の方も無料で
聴講いただけます。

参加申し込み



お問い合わせ先

日本薬史学会 2026年会 事務局
(東北医科薬科大学生薬学教室)
shouyaku@tohoku-mpu.ac.jp

学会情報・最新情報

学会の最新情報やプログラム等は
年会ホームページにて
随時更新いたします。



日本薬史学会 年会ホームページ

<https://plaza.umin.ac.jp/yakushi/event/nenkai/>



主催：日本薬史学会

青森県病院薬剤師会 担当者 様

2026-7-21

船山信次

日本薬史学会第9代会長

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16

(一財) 学会誌刊行センター内

日本薬史学会

日本薬史学会 2026 年会(仙台) 開催のご案内

前略失礼いたします

貴会にはいつも大変にお世話になりましてまことにありがとうございます。

日本薬史学会第9代会長の船山信次(仙台市出身)と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

日本薬史学会は、1954年に東京大学教授朝比奈泰彦先生により創立された薬学/薬剤師に関する歴史研究を行っている由緒ある学会であり、査読のある学術雑誌として『薬史学雑誌』を刊行して60年目を迎えております。

さて、今般、本会では別紙の日程により、「日本薬史学会 2026 年会(仙台)」を、東北医科薬科大学を会場、同大学の佐々木健郎教授を年会長として開催いたすことになりました。その詳細につきましては随時、本会のHPに掲載いたしております。

そこで、この機会に是非、貴会会員にもご来場・ご参加いただき、本学会との絆を構築していただくとともに、日常の薬剤師業務、医療薬学分野にお役立ていただければ幸いと存じ、ここにご案内申し上げる次第です。

貴会のさらなるご発展をお祈り申し上げつつ失礼いたします。まずはご案内まで。

草々

記

1. 期日：2026 年 9 月 26 日（土） 10:00～17:00（予定）
2. 会場：東北医科薬科大学 小松島キャンパス
（JR 仙山線東照宮駅、地下鉄南北線台原駅）
3. 参加費：当日：7000 円 後援団体会員：6000 円
4. 詳細は同封の「日本薬史学会 2026 年会（仙台）のご案内（第 2 版）」
または本会ウェブサイトご参照ください
<https://plaza.umin.ac.jp/yakushi/>

以上

附記 日本薬剤師研修センター（PECS）単位申請予定です。
（現時点で 3 単位申請を予定）

日本薬史学会 2026 年会（仙台）のご案内（第 2 版）

日本薬史学会 2026 年会（仙台） 年会長 佐々木健郎

2026 年会の開催地・仙台は仙台藩の藩祖伊達政宗公が開かれた大変風光明媚な街で「杜の都」とも呼ばれます。

誰もが一度は耳にした名曲、『荒城の月』。作曲は、滝廉太郎、作詞は、仙台出身の詩人・土井晩翠で知られます。」土井晩翠は仙台市の出身で「荒城の月」の作詞の際には諸説がありますが、仙台の「青葉城」に想いをはせたとされています。

年会会場の東北医科薬科大学の校歌は土井晩翠の作詞であり、構内には明治の文学者である高山樗牛と土井晩翠、笹川臨風の三人が何度も集い、青年期の想いを語り合った場所として有名な「瞑想の松」があります。その歌碑には「いくたひか こゝに真晝の 夢みたる 高山樗牛 瞑想の松」と刻まれています。東北医科薬科大学の校章、公式ロゴにもこの「瞑想の松」が 3 本のラインと共にデザインされています。

本年会では一般口演（口頭・ポスター）の他に薬の歴史とその社会的意義を広い視野からとらえた特別講演を 2 件予定しております。

◇ 特別講演 1

「伝承の和漢薬 塩釜蛭紅華湯」田村 博義 先生
（元 塩釜蛭紅華湯株式会社 会長）

◇ 特別講演 2

「毒と薬と私たちの歩み ～薬毒同源～」船山 信次 先生
（日本薬科大学 客員教授・日本薬史学会 会長）

*本講演（特別講演 2）は、一般の方も無料でご聴講いただけます。

いずれも薬の持つ力が個人の健康だけではなく社会や歴史そのものを再認識させてくれる内容であり、多くの示唆を得られるものと期待しております。

また、9 月 27 日（日）には「薬史ツアー」として、仙台駅付近発着のバスツアーを企画しております。コースは「みやぎの明治村」と呼ばれる宮城県北部の登米市を中心に、薬史に関わる歴史的な意義を持つ名所を訪ねます。

日本遺産「みちのく GOLD 浪漫—黄金の国ジパング、産金はじまりの地をたどる—」日本初の産金地である涌谷町の「天平ろまん館」では学芸員から、「明治村懐古館」・「蔵の歴史博物館」では伊達家

ご当主様からの歴史のご講和と専門員からの説明があります。昼食は登米の郷土料理をお楽しみいただき、帰路の途中では東松島の道の駅へも立ち寄る予定です。薬史研究に新たな視座を加える機会となると確信いたします。

本年会は、東北医科薬科大学小松島キャンパスを会場として行われますが、季節的に多くの観光客が訪れる季節であり、例年ホテルの宿泊などが困難になってくる状況があります。年会事務局では宿泊ホテルの斡旋も行っておりますが数が限られており満室になり次第締め切りとなりますのでお早い予約をお願いいたします。

また、大学へのアクセスは学会 HP（2026 年会）でご案内しております。バスの時刻表等はアップデートしながら掲載しておりますので直前のご確認を必ずお願いいたします。情報交換会も含め、会員同士の親交を深め、世代や領域を超えた知的な交流の場となるように鋭意準備を進めております。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【参加登録】：薬史学会ホームページでご案内の通りです。ホームページのご案内に従ってご登録ください。

【年会参加・懇親会参加・宿泊斡旋・薬史ツアー参加について】

<https://plaza.umin.ac.jp/yakushi/event/nenkai/>

<事前参加の締切> 2026 年 9 月 14 日（月）23：59

講演を申込される方も、参加登録は別途必ず行っていただくよう、お願い致します。事前参加登録期限以降は、当日料金となり、現金での対応のみになります。当日の受付の混乱を避けるためにも、事前参加登録にご協力をお願いいたします。

登録方法：■ Google アカウントをお持ちの方 Google フォームからご登録ください。

> 登録用 Google フォーム

Google アカウントをお持ちでない方：年会事務局まで電子メールでご連絡ください。

申込内容については、個別にメールで返信いたします。

E-mail アドレス shouyaku@tohoku-mpu.ac.jp

【年会参加・懇親会参加・宿泊費・薬史ツアーの事前精算】

精算方法：年会参加、懇親会参加、薬史ツアーの費用は、まとめてお振り込みください。振込手数料は、ご負担ください。

銀行名・支店名：七十七銀行 東勝山支店（しちじゅうしちぎんこう ひがしかつ やましてん）

口座名義：株式会社トラベル e 旅（カ トラベル イイタビ） 口座番号：普通 5016078

お問合せ窓口：株式会社トラベル e 旅 佐藤 芳郎

E-mail：yoshiro-sato@travel-e-tabi.com

※ 登録確認、入金確認等は、電子メールにてお問い合わせください。

【年会参加費】： 薬史学会会員 事前登録 5,000 円 当日登録 6,000 円
共催団体会員 事前登録 5,000 円 当日登録 6,000 円
非会員 事前登録 6,000 円 当日登録 7,000 円
学生・大学院生 事前登録 無料

【薬史ツアー】日 程：2026 年 9 月 27 日（日）
参加費：12,000 円（昼食代込み）

【懇親会】日時：9 月 26 日（土）18：00 ～ 20：00（予定）
場所：JR 仙台駅周辺の飲食店（参加者数確定後に決定）
参加費：7,000 円（確定）

【優秀発表のご案内】※ 口頭発表とポスター発表の全ての発表から、優秀発表を選出します。
※ 表彰は、2027 年の日本薬史学会総会にて行います。

【宿泊案内】

旅行取扱者：株式会社トラベル e 旅（宮城県知事登録第 2-408）
〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町 12-21 シントウ二日町ビル 2 階 3 号
担当者：佐藤 芳郎（さとう よしろう）
問合せ：TEL 022-797-5005 / FAX 022-797-5006
E-mail：yoshiro-sato@travel-e-tabi.com